

工事種類別完成工事高 工事種類別元請完成工事高

項番 3 1	審査対象事業年度の前審査対象事行年度又は 前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年 自 3 1 年 0 1 月 至 0 2 年 1 2 月 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 02年 1月 ~ 02年12月 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 31年 1月 ~ 01年12月 忘れずに記入	審査対象事業年度 自 0 3 年 0 1 月 至 0 3 年 1 2 月	計算基準の区分 2 (1.2年平均) 2 (2.3年平均)	
業種コード 3 2 0 1 0	完成工事高(千円) 5 1 6 3 3 9	元請完成工事高(千円) 2 7 1 7 2 9	完成工事高(千円) 3 9 0 0 0 0	元請完成工事高(千円) 3 9 0 0 0 0
工事の種類 審査対象建設業種を記載する。 土木一式 工事	完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 438,292 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 594,386	元請完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 222,516 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 320,943	完成工事高内訳書の各業種ごとの合計金額と一致すること。	
業種コード 3 2 0 1 1	完成工事高(千円) 7 5 9 9 2	元請完成工事高(千円) 7 5 9 9 2	完成工事高(千円) 5 8 0 0 0 0	元請完成工事高(千円) 5 8 0 0 0 0
工事の種類 プレストレスト コンクリート 工事	完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 69,536 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 82,448	元請完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 69,536 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 82,448	「土木一式」「とび・土工・コンクリート」「鋼構造物」の3業種は内訳として「PC」「法面処理」「鋼橋上部」を必ず記入する。ただし、内訳であるため合計金額に含めないこと。	
業種コード 3 2 0 5 0	完成工事高(千円) 6 5 1 0 7	元請完成工事高(千円) 3 2 3 2 6	完成工事高(千円) 1 6 7 0 0 0	元請完成工事高(千円) 4 8 0 0 0 0
工事の種類 とび・土工 コンクリート 工事	完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 62,226 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 67,989	元請完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 20,442 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 44,210	審査対象建設業種は実績が「0」であっても必ず記入すること。	
業種コード 3 2 0 5 1	完成工事高(千円) 3 3 3 3 6	元請完成工事高(千円) 2 3 1 0 7	完成工事高(千円) 4 8 0 0 0 0	元請完成工事高(千円) 4 8 0 0 0 0
工事の種類 法面処理 工事	完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 28,577 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 38,095	元請完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 18,000 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 28,215	とび・土工・コンクリート工事及び塗装工事分類表の法面処理の金額と一致すること。	
業種コード 3 3	完成工事高(千円) 2 2 3 5 1	元請完成工事高(千円) 6 6 0	完成工事高(千円) 1 7 4 9 2	元請完成工事高(千円) 7 8 0
工事の種類 その他 工事	完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 18,292 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 26,410	元請完成工事高計算表 審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 900 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 420	「その他」・「合計」は業種が多く用紙が複数枚に渡る場合は最終の用紙に記入すること。	
業種コード 3 4	完成工事高(千円) 6 0 3 7 9 7	元請完成工事高(千円) 3 0 4 7 1 5	完成工事高(千円) 4 2 4 1 9 2	元請完成工事高(千円) 3 9 5 5 8 0
合計				

契約後VEに係る完成工事高の評価の特例

(1. 有 (2) 無)